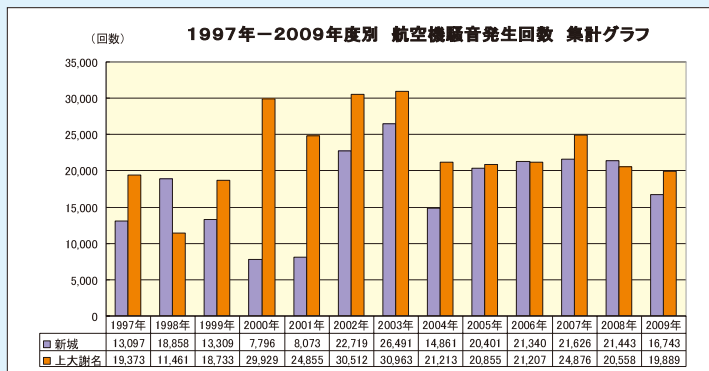


普天間飛行場の騒音実態

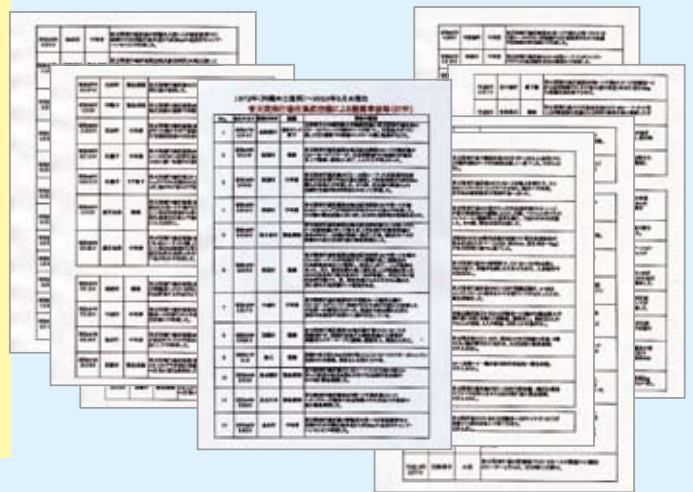


1997年～2009年度別 航空機騒音発生回数 集計グラフ

米軍機による騒音発生件数が1.5倍に。

SACOによる返還期限とされた2003年までに飛行回数が1.5倍に著しく増加し、市民は更なる爆音被害と墜落の恐怖の下で平穏な市民生活を脅かされ続けている。ヘリ墜落の起きた2004年には騒音発生件数が低減されているが、それは事故直後に米軍ヘリ部隊がイラク戦争や海外での合同演習に派遣され、ヘリの飛ばない静かな日常が続いたものの依然として年間2万回を超える騒音が発生している。

普天間飛行場所属機による事故



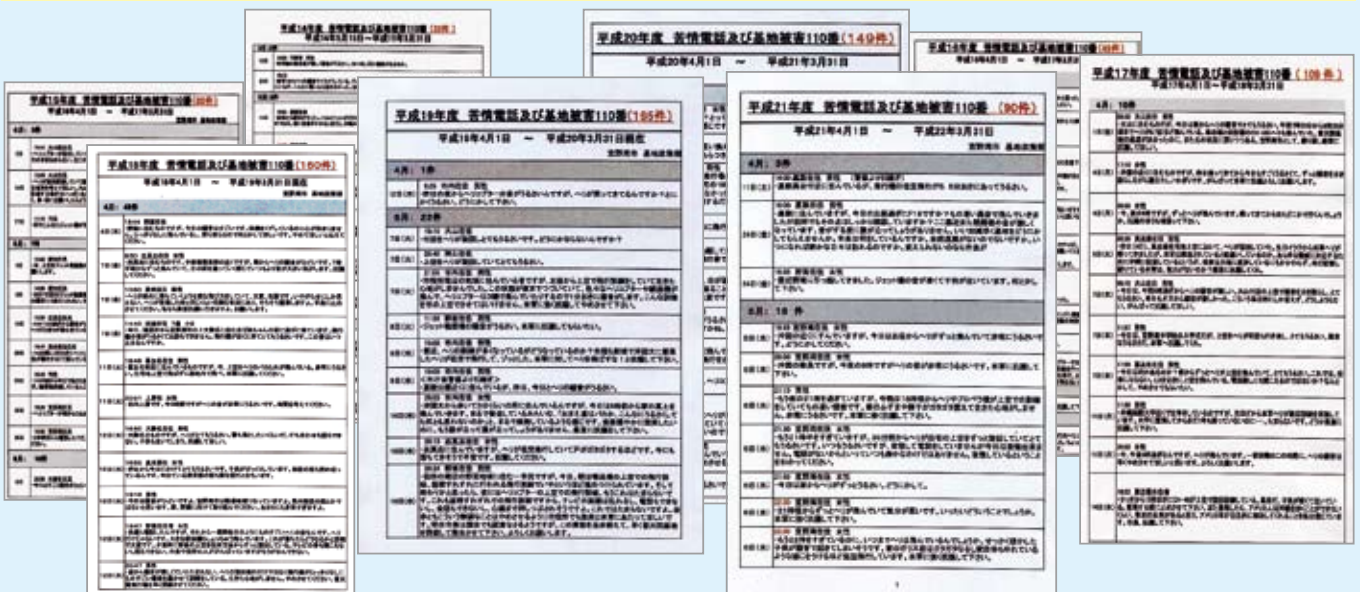
普天間飛行場所属軍用機による事故は年約2.2回発生！

本土復帰の1972年からの統計によると、普天間飛行場所属機による事故はこれまでの間、87回発生しており、年間ベースでは平均して1年あたり約2.2回発生している。2004年8月13日に起きた沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落事故は、市民の誰もが恐れていたことが、ついに現実のものになった。物的被害や精神的被害が確認されたものの、人体への被害がなかったのは、奇跡としかいいようのない事故であった。

ヘリ墜落事故は最後の警告であり、二度と墜落事故を起こさないようただちに普天間飛行場を閉鎖・返還するべきである。

基地被害110番に寄せられた市民苦情の声

基地被害110番に寄せられる市民からの騒音苦情は年々深刻化しており、墜落事故後に至っては、苦情の内容も精神的・心理的に恐怖に圧迫されているものになっている。また、最近では地上デジタル放送の受信被害の苦情も増えている。



平成14年度(2002年)～平成21年度(2009年)に
基地被害110に寄せられた市民苦情の声

宜野湾市基地被害110番 TEL893-4400